

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	NESTING新神戸			公表日	2024年 12月 27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	・ただ業務に対して理解が足りていないアルバイトがいる。 ・職員の数が少ない時がある ・有資格者の配置数も重要	・理解が足りていない職員には研修を実施 ・職員の配置の見直しを実施
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	3	・向上心のない職員がいる	・研修や、福祉について意識を向上できるようなアドバイスや相談対応を実施する
	7	保護者向け評価表より、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・保護者向けの評価表がない	・実施していることを説明
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・常に会議、ミーティングなどある	・継続していく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	3	・管理者などが声掛けされるもアルバイトにやる気を感じられないし注意を行っても「見ていない」など責任回避の発言をする。 ・職員用の研修をもっとすべき、スタッフの意識向上のための研修も	・研修の時間確保が難しく出勤時間も別々であるが、月1回の研修などができるよう調整する
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・アルバイトが把握できていない、声掛けや資料の場所を伝えるも見ようもしないし、問題があつてから「そんなのがあったんですか」と発言している	・アルバイトでも責任のある仕事であると意識をもってもらえるよう声掛けや研修を実施
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	・管理者が積極的に声掛けし会議をしてくれるが、アルバイトは自分の都合を優先し参加しない ・職員の理解度に問題あり	・責任感を持ってもらうよう仕事の割り振りなどを実施
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	・そういう時間が足りない ・理解が足りないアルバイトが共有事項や資料に目を通さない	・利用児童の個人情報の重要性を伝えられるよう研修などを実施する
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	・説明や、声掛けを管理者がしてくれているが理解が足りないアルバイトがいる。 ・職員が周知しているか疑問 ・そういう時間が足りない	・時間が不足している事実を鑑み対策を思案中
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3	・管理者が主に行ってくれている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・管理者が職員に相談し立案してくれている。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0			
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	・時間がたりてない ・職員はしっかりしているが、アルバイトは前日と翌日の予定すら把握せず来たら確認し確認不足で仕事に入るので困る。管理者が注意するも、その場では「分かりました」と返答するが理解できていない。 ・必ずの打ち合わせはない	・時間が不足している事実を鑑み対策を思案中	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	・時間が足りてない	・時間が不足している事実を鑑み対策を思案中	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・問題のアルバイトスタッフは子どもと遊ぶことに夢中でできていない。	・遊ぶことではなく支援者としての意識をもってもらうよう指導をおこなう	

	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0	・そのつもりと分かる職員とそうでない職員がいる	・意識共有を実施していくために研修などを予定
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・親との連携している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・管理者が参加されている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	・そうとは言えない ・対応利用児童がまだいない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	1	・対応利用児童がまだいない。 ・就Bとの連携あり	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	・まだない	・交流会に参加し活動機会の場を合わせられるよう動いている
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	・まだない ・管理者が参加されている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・問題のアルバイトスタッフ以外はできていると思う	・職員全員で意識共有ができるよう声掛けや情報共有を行う
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	・そうとは言えない	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・メールを通して行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・メールにて発信	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1	・個人情報の取扱いに十分留意しているか。	・事例をもとに研修を実施する
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	・予定はある	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	・予定はある	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	2	・周知されていない	・事例をもとに研修を実施する

非常時等の対応	49	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・周知されていない	・事例をもとに研修を実施する
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	・そうとは言えない	・事例をもとに研修を実施する
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	・努力している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	2	・予定はしている	・事例をもとに研修を実施する
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1		

				(別紙3)
公表		事業所における自己評価総括表		

○事業所名	NESTING新神戸		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 30日	～	令和6年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 35人	(回答者数)	27人
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 30日	～	令和6年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月 13日		

○ 分析結果			
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・共同事業（就労支援B型）と協力イベントや専門スタッフによる指導が受けれる	・何事にも挑戦できる環境づくり ・積極的にイベントに参加できるよう利用児童にやってみたいことなどを確認し、実践している	・職員の意識共有への取り組み ・共同事業との連携
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者との連携不足	・利用日数が少ない児童が多い ・保護者に対して連絡が消極的 ・一部職員やアルバイトが利用児童と保護者が結びついていない	・保護者に積極的に児童の様子やアドバイスなど連絡を行えるようにする ・送迎時に日中の様子などを少しでも伝えられるよう情報共有を実施
2	・地域との連携不足	・時間不足による地域イベントや交流会に参加できていなかった	・時間や仕事の割り振りを見直し積極的に参加する

3	<ul style="list-style-type: none">・一部の職員の知識不足・一部の職員の理解不足	<ul style="list-style-type: none">・向上心や責任感の無さからくる意識の低さ・会社のビジョンと職員の意識共有不足	<ul style="list-style-type: none">・会社の目標や理念の共有を行う・職員ひとりひとりに責任があることを指導・研修などで知識、経験不足を補う
---	---	---	---